

■清水安三 教育家。辛亥革命後の中国で底辺の子らの自立を助け、〈敗戦〉で全て失うと、妻郁子と桜美林学園創立。

しみずやすぞう

大津事件・1891= 滋賀県高島郡新儀で、中江藤樹の孫弟子で「続翁問答」を著した先祖を持つ豪農に生まれる。

日清戦争始・1894= 3歳:

白馬会・1896= 5歳: 父が急逝し、16年長の兄が後を継ぐが、

彼が放埒な生活を送ったため、

ピアノ国産化・1900= 9歳:

財産を殆ど失い、

日露戦争終・1905=14歳:

満鉄発足・1906=15歳:

小学校卒業を機に、兄の妻子とともに、大津に住まわされ、膳所中学に通う。

アヲキ創刊・1908=17歳: この間、来日した教師ヴォーリーズ(一柳米来留)の影響を受けて、キリスト教に親しみ、

忍耐の尾が切れた兄の妻が離婚したため、兄の愛人の料理旅館に居候させられ、様々な嬌態を眼にすることになると、大津基督教会で洗礼を受ける。

伊藤博文暗殺1909=18歳: 卒業すると、兄の反対を押切って、同志社大学神学部に入學、

熱心にボランティア活動などするうち、

明治天皇没・1912=21歳:

「日本のペスタロッチ」小竹徳吉の妻となった盲聾教育者の姉キヨの影響を受け、

第一次大戦始1914=23歳: 唐招提寺で鑑真像を見て感動し、

21ヶ条要求・1915=24歳:

京都平安教会牧野虎次の奨励もあって、キリスト教伝道のため中国渡航を決意表明して、卒業。

民本主義・1916=25歳:

兵役義務を早めに終えるべく、志願兵として陸軍に入隊し、

ロシア革命・1917=26歳:

牧野から中国へ推薦があり、除隊となるや、中国に渡航。奉天に向かうも、中国語を話せなかったため、

大きな家を借りて下宿人を置き、家庭教師を雇い、表札に教会堂・児童館を掲げ、急速に溶込んで行く。

本格政党内閣1918=27歳:

協働者たる妻を得べく、教会本部への報告を兼ねて帰国。偶然の出会いから横田美穂と結婚し、再渡航。

ベルサイユ条約・1919=28歳:

満鉄が奉天教会対象者を日本人に限定したため、妻を日本に帰し北京に移住。(我等)に評論を寄せる。

大暴落・1920=29歳:

\*大干害が起こると、妻を呼寄せて飢饉被災児童の救済運動をするうち、教育訓練欠如を痛感、随一のスラム地区(朝陽門外)に、{工読女学校}を開設、作品売出しにも成功、

原敬首相暗殺1921=30歳:

長男が誕生。経済的支援を求めべく帰国すると、複数の財界人から多大の寄付があり、

水平社結成・1922=31歳:

長女も誕生。

護憲三派圧勝1924=33歳:

\*評論を「支那新人と黎明運動」「支那当代新人物」として出版、魯迅を初めて紹介、中国研究者の名が確立。

日本時代始・1926=35歳:

妻とともにアメリカ留学の機会に恵まれ、渡米し、

金融恐慌・1927=36歳:

オペリン大学を卒業して中国に戻ると、昭和恐慌で寄付者が破綻し、学校経営が危機に。

世界恐慌・1929=38歳:

{読売新聞}{国民新聞}の北京特派員の地位を得て凌ぐも、

世界恐慌となって、それも失ったため、妻を中国に置いて大阪の{基督教世界}の編集に従事、

その収入を注ぎ込むうち、現地での寄付や売上げ増大で好転し、

満州事変・1931=40歳:

土地を得て校舎を建て、中国で日本人が初めて建てた本格的学校となる{崇貞女学校}へと発展。中国人の

支持を得ていたため、満州事変後の反日運動の影響も受けずに過ぎたが、

五一五事件・1932=41歳:

同志社を追放され、窮余の策で訪れた{近江兄弟社}から中国でのメンソレータム販売権が無駄にも、

国際連盟脱退1933=42歳:

妻の肺結核が急速に進行し、ついに死去。

帝人疑獄事件1934=43歳:

遺骨を携えて中国に戻ると、朝陽門外の人々が喪章をつけて迎える。事業を続けるのに相応しい伴侶をと

り、オペリン留学時に知合い既に女子教育論のスターとなっていた小泉郁子に再婚申し込みの手紙を送り、

二二六事件・1936=45歳:

それまでの栄光を投打ってくれた郁子と再婚。学校の教育と経営全てを任せ、{崇貞学園}として飛躍。

日中戦争始・1937=46歳:

日中戦争が始まると、日本政府の宣伝利用援助を受けるなか、久布白落実らが来訪、その縁で、

健保+総動員 1938=47歳:

{支那の人々}。北京の巨大スラム天橋に日本基督教連盟婦人部のセツルメント建設現地委員長となり、

第二次大戦始1939=48歳:

{愛隣館}を開設。図書館・講堂・寄宿舎・体育館が完成するなど、学園はますます拡大繁栄して行く一方、

ベストセラー「朝陽門外」「姑娘の父母」ほか相次いで出版、教科書で偉人扱いまでされるようになるが、

大政翼賛会・1940=49歳:

{開拓者の精神}、

日米開戦・1941=50歳:

{支那の心}、

1942=51歳:

北京市教育局に派遣されてきた国家主義的官僚の弾圧目標となり、

創価学会検挙1943=52歳:

{支那人の魂を掴む}。補助金打ち切りとなるも、皇室から御下賜金が出たが、中国人には複雑な気持ちを生み

ながらも、「中国人の足を洗う」を信条に、献身的に守り立てて行くが、

敗戦・1945=54歳:

敗戦で断絶、中国人が存続に努力してくれるも、全てを失い、

新憲法公布・1946=55歳:

\*民国政府の命令で船で引揚げ、28年ぶりに帰国。宿泊にも難儀するなか、賀川豊彦と出会い、東京町田の

旧軍需工場寮の建物を紹介されると、オペリンをもじったキリスト教主義の{桜美林高女}を設立、

新憲法施行・1947=56歳:

敗戦後の逸早い開校で応募者多く、GHQによる教育改革で共学が認められるや、{中学校}に切替え、

極東裁判決・1948=57歳:

{希望を失わず}。

経営は困難ながら、様々な寄付・寄贈もあって、奇跡的スピードで充実して行く。

朝鮮戦争始・1950=59歳:

短期大学を発足。

独立回復・1951=60歳:

自衛隊発足・1954=63歳:

インスタントラーメン 1958=67歳: 卒業式最中に出火し、講堂と食堂が全焼。

安保闘争・1960=69歳:

全国総合計画1962=71歳: 大学設立に向けて準備を開始するが、

TV宇宙中継始1963=72歳:

東京カンピョウ 1964=73歳:

過労もあって、妻郁子が脳溢血で倒れ死去。

大学紛争始・1965=74歳:

中国文学と英米文学科で、念願の大学が認可され、

美濃部都知事1967=76歳:

{中江藤樹の研究}。

震ヶ関ビル 1968=77歳:

経済学部を発足。幼稚園を開設。

全共闘 1969=78歳:

寄宿舎二棟が焼失するなど、アクシデントに見舞われるも、その都度支援を受け、

総合学園へと発展させた後も総長をつとめ、

日中国交回復1972=81歳:

クアアール事件1975=84歳:

{キリスト教新聞}に自伝を連載し、

田中角栄逮捕1976=85歳:

夏の甲子園に初出場した{桜美林高校}が優勝するという奇跡にも恵まれたが、

JALハイジャック 1977=86歳:

{石ころの生涯}として発刊。

リクルート事件 1988=97歳:

没した。

山崎朋子「朝陽門外の虹」、